

## 令和4年10月 文書質問及び回答

1 質問者 春日隆司議員

2 質問事項 施設(植樹枠・遊歩道)整備と管理の最適化について

質問の内容・要旨	回答
<p>街路植樹枠について、昨年7月の文章質問回答では、防草シートを敷きその上に砂利舗装を施す工法で雑草の発生を抑制するとして、今年度以降も進めるとのことありました。</p> <p>同工法の現状を見ると、脇から雑草が生え美化上からも問題があります。雑草発生を抑制する目的が達成されていません。</p> <p>そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年の街路植栽枠の管理(草取)経費は幾らでしょうか。どこが行っていますか。</li> <li>② 維持管理コストや美化などからも抜本的な改善(方法変更等)が必要ではないでしょうか。</li> <li>③ 例えば、全面カラー舗装化しながら、その上に鉢花を置くなど、美化、住民参加、財政など総合的に勘案し抜本的な改善が必要ではないでしょうか。</li> <li>④ いずれにしても、町民、団体等の意見等を踏まえ改善すべきでないでしょうか。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> </div>	<p>街路植樹枠について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度の植樹枠の草刈り経費は698,500円であり、株式会社谷組が実施しております。</li> <li>② ふるさと通り線の雑草が多く管理が行き届いていない植樹枠については、枠内に防草シートを敷きその上に砂利を施すことにより、施工前より雑草の発生が抑制され、一定程度の効果があるものと考えておりますが、縁石の縁部分については、雑草が発生している箇所もあり、完全に抑制することは難しいところがあります。今後におきましては、施工方法を改善し抑制効果を上げていきたいと考えております。</li> <li>③・④ 植樹枠にカラー舗装など雨水浸透性がない舗装を施すことは、現在ある樹木の育成を阻害してしまう恐れがあるため、実施は難しいと思いますが、今後においても、安価で効果的な施工方法を考えるとともに、樹木が枯損している植樹枠には補植することなども含め、景観を考慮した整備を進めていきたいと考えております。</li> </ul> <p>また、花壇整備や環境整備を実施していただいている老人クラブや地域住民の方々には、引き続きご協力いただくとともに、地先の方々の意見を聞き取りながら、整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>万里長城の遊歩道について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 万里長城の遊歩道の砂利均しは、陥没箇所の復旧を目的としたものです。今回の整備では陥没箇所に土を入れ整地し、再度陥没しないように砂利均しをしたものです。また、陥没が著しい箇所の補修は今回で完了していることから、今後の整備予定はありません。</li> <li>② 今回の整備は、陥没箇所の補修であることから、町民などへの意見等の聴取は行っておりません。</li> </ul>

万里の長城遊歩道は、ウォーキング、ランニング、散策などに利用されています。

今年、一部砂利舗装化されたが、現在では雑草も目立つようになっています。また、砂利舗装は膝などへの負荷がかかりウォーキングなどには適さないとされています。

一方、桜ヶ丘公園下の遊歩道はチップ舗装となっており、雑草の発生もなくクッション性があり、膝などへの負荷も軽減されます。

そこで、

- ① 砂利舗装の目的は何でしょうか。今後の計画はどうなっていますか。
- ② 町民などの意見が反映され施工されたのでしょうか。
- ③ 桜ヶ岡公園下との整合性が図られないのでしょうか。
- ④ 維持管理コストからも検討され、砂利舗装とされたのでしょうか。



③ 桜ヶ丘公園下の万里長城は、長城築城時に合わせてウッドチップ舗装を施工しており、本体の万里長城とは条件や規模も違うため、通路内の整備について整合を図るのは難しいと考えております。

④ 今回の補修費用は 1,778 千円となりましたが、今回の補修費用、今後の維持管理費用を合わせて検討し、土による整地及び砂利均しにより補修をしたものです。